

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社JFLAホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3069 URL https://j-fla.com/
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)檜垣 周作
問合せ先責任者 (役職名)法務総務部長 (氏名)尾崎 富彦 (TEL)03(6311)8892
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	52,056	△11.3	749	—	593	—	△60	—
2023年3月期第3四半期	58,702	10.3	△392	—	△549	—	△599	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △552百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 △531百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△1.27	—
2023年3月期第3四半期	△13.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	41,942	6,741	11.6
2023年3月期	41,394	6,159	11.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,848百万円 2023年3月期 4,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	△21.8	150	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	47,964,636株	2023年3月期	46,837,136株
2024年3月期3Q	43,664株	2023年3月期	38,725株
2024年3月期3Q	47,602,287株	2023年3月期3Q	46,073,345株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い行動制限が緩和され、インバウンド需要も回復基調となり経済活動の正常化が徐々に進みました。一方で、緊迫した世界情勢に加え、原材料価格やエネルギー価格の高騰、円安進行に伴う物価上昇が続いており、依然として先行き不透明な状況となりました。

食品・飲食業界につきましては、外食を中心に持ち直しの動きが続いているものの、原材料価格やエネルギー価格の高騰、円安の進行に伴う相次ぐ食品の値上げによる物価上昇や、実質賃金の減少による節約志向の高まり等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「食を通じた新たな価値の創造と提供」をミッションに、「新たな価値を生み出すブランド創出」、「新たな価値を提供する多様な販売手法の構築」、「新たな価値を支える経営基盤の確立と持続的な成長」という3つの中長期戦略に取り組んでおります。

また、前期より引き続き、事業ポートフォリオの再構築として、生産事業への経営資源の集中や販売事業における製販一体型事業への移行等を進めております。それと並行して収益改善に努め、販売事業部門では不採算継続事業の撤退・売却、生産事業部門では穀物価格やエネルギーの価格変動リスクを吸収する値上げ等の対策、流通事業部門では円安の影響を改善するための売価調整、そして本社部門では固定費削減等も取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は52,056百万円(前年同四半期比11.3%減)、営業利益は749百万円(前年同四半期は営業損失392百万円)、経常利益は593百万円(前年同四半期は経常損失549百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は60百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失599百万円)となり収益改善が進みました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①生産

連結子会社数の減少に伴い生産事業全体では減収となりましたが、九州乳業株式会社及び茨城乳業株式会社は、穀物や原油価格などの価格高騰への適切な値上げ対応及び販売促進が奏功し、大幅な増収増益となりました。株式会社弘乳舎は、生乳の生産量減少を背景に受託収入は減少したものの、脱脂粉乳やアイスクリームの売上が順調に推移したこと等により安定的な利益を確保しました。盛田株式会社においては、原材料価格高騰に伴う商品価格の改定や採算性を重視した販売等により増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は32,203百万円(前年同四半期比3.3%減)、営業利益は1,077百万円(前年同四半期比211.1%増)となりました。

②流通

株式会社アルカンは、商品の価格改定の実施、主力商品の「Kiriクリームチーズ」が順調に推移したものの、シャンパンの販売が伸び悩んだこと等により減収となりましたが、販管費の削減等により増益となりました。また、東洋商事株式会社を売却したことにより、売上高は減少したものの利益改善に繋がりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は10,860百万円(前年同四半期比30.3%減)、営業利益は285百万円(前年同四半期比26.7%減)となりました。

③販売

販売事業においては、経済活動の正常化及び前期の不採算事業の撤退・売却により業績が改善いたしました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は8,749百万円(前年同四半期比9.0%減)、営業利益は164百万円(前年同四半期は営業損失111百万円)となりました。

④その他

ウェルエイジング事業や店舗開発事業等の当第3四半期連結累計期間における売上高は242百万円(前年同四半期比14.1%増)、営業損失は16百万円(前年同四半期は営業損失40百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ547百万円増加の41,942百万円となりました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ34百万円減少の35,201百万円となりました。純資産合計は前連結会計年度末と比べ581百万円増加の6,741百万円となりました。これは主に新株の発行による資本金及び資本準備金の増加計334百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は11.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回(2023年11月13日)の業績予想から変更しておりません。なお、引き続き、構造改革に伴う事業整理及び投資判断が必要との観点から、現時点では経常利益以下の各利益の業績予想の開示は行っておりません。

また、2023年9月14日に開示しました「株式会社地域経済活性化支援機構による株式会社JFLAホールディングスへの再生支援決定、第三者割当によるA種種類株式の発行に関するお知らせ」に関連し、株式会社地域経済活性化支援機構と新たな事業再生計画を策定いたしました。今後は、①製品値上げ、②製品ポートフォリオ見直し、③設備投資、④不採算子会社の整理、⑤不採算工場・店舗の閉鎖、⑥本部経費見直し、⑦経営管理体制強化、⑧財務基盤の強化等の施策に取り組むことで、更なる収益性改善を図ります。

なお、今後の見通しにつきましては、業績予想の精査、並びに連結業績に与える経営数値の合理的な予想が可能となりましたら、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,093,805	3,154,969
受取手形及び売掛金	8,614,250	10,264,173
商品及び製品	4,663,894	4,110,017
仕掛品	1,691,530	1,669,213
原材料及び貯蔵品	1,323,253	1,335,697
その他	1,796,042	1,688,414
貸倒引当金	△20,487	△13,727
流動資産合計	20,162,289	22,208,760
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,983,128	7,845,168
その他(純額)	6,923,500	6,336,110
有形固定資産合計	14,906,629	14,181,279
無形固定資産		
のれん	2,355,246	1,870,488
その他	232,197	176,710
無形固定資産合計	2,587,444	2,047,199
投資その他の資産		
その他	3,839,767	3,606,329
貸倒引当金	△101,242	△101,130
投資その他の資産合計	3,738,524	3,505,198
固定資産合計	21,232,598	19,733,677
資産合計	41,394,888	41,942,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,697,400	7,520,872
短期借入金	10,633,975	2,478,350
1年内償還予定の社債	93,600	—
1年内返済予定の長期借入金	1,831,125	89,966
未払法人税等	123,505	234,564
賞与引当金	75,385	127,247
店舗閉鎖損失引当金	9,326	1,766
その他	4,655,822	4,618,788
流動負債合計	24,120,141	15,071,556
固定負債		
長期借入金	6,876,769	16,343,027
債務保証損失引当金	64,465	57,225
事業構造改善引当金	52,000	26,703
退職給付に係る負債	720,543	691,782
資産除去債務	752,763	676,613
その他	2,648,775	2,334,505
固定負債合計	11,115,317	20,129,858
負債合計	35,235,458	35,201,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,633,910	3,801,306
資本剰余金	8,461,794	8,879,270
利益剰余金	△6,765,215	△6,825,668
自己株式	△15,614	△16,730
株主資本合計	5,314,875	5,838,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△60,318	14,030
為替換算調整勘定	△322,233	△831,643
退職給付に係る調整累計額	△134,930	△171,950
その他の包括利益累計額合計	△517,481	△989,563
新株予約権	17,783	—
非支配株主持分	1,344,253	1,892,409
純資産合計	6,159,429	6,741,023
負債純資産合計	41,394,888	41,942,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	58,702,082	52,056,575
売上原価	43,102,843	37,827,023
売上総利益	15,599,238	14,229,551
販売費及び一般管理費	15,992,091	13,480,424
営業利益又は営業損失(△)	△392,852	749,127
営業外収益		
受取利息	8,153	7,014
受取配当金	3,480	5,032
為替差益	191,153	276,434
持分法による投資利益	14,530	7,921
その他	116,881	118,496
営業外収益合計	334,200	414,900
営業外費用		
支払利息	295,127	333,805
その他	195,991	236,241
営業外費用合計	491,118	570,047
経常利益又は経常損失(△)	△549,770	593,980
特別利益		
固定資産売却益	29,067	998
投資有価証券売却益	374,349	—
新株予約権戻入益	—	4,735
債務保証損失引当金戻入額	—	7,240
その他	441,569	5,446
特別利益合計	844,986	18,420
特別損失		
固定資産売却損	39	958
固定資産除却損	5,618	1,571
減損損失	28,898	—
投資有価証券評価損	267,657	104,447
関係会社株式売却損	—	234,900
事業構造改善費用	264,819	—
その他	239,612	16,942
特別損失合計	806,645	358,819
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△511,430	253,581
法人税、住民税及び事業税	177,433	257,803
法人税等調整額	△110,666	△383
法人税等合計	66,766	257,420
四半期純損失(△)	△578,196	△3,839
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,988	56,614
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△599,184	△60,453

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△578,196	△3,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,421	75,132
為替換算調整勘定	39,029	△585,607
退職給付に係る調整額	△8,023	△37,900
その他の包括利益合計	46,427	△548,375
四半期包括利益	△531,768	△552,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△554,642	△532,534
非支配株主に係る四半期包括利益	22,874	△19,679

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年10月29日付発行の第9回新株予約権（第三者割当による新株予約権）の行使に伴う新株の発行による払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ167,396千円増加しております。

また、当第3四半期連結累計期間において、Atariya Ishimitsu UK Limitedの設立にあたり、連結子会社であるT&S Enterprises (London) Limited及びAtariya Foods Retail UKの株式のすべてを現物出資し、資本剰余金が250,081千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は3,801,306千円、資本剰余金は8,879,270千円となっております。